

利賀っ子だより



R3. 10. 12

- ～ 学習発表会に向けて その2～
- よりよい発表を目指して



低学年のステージ発表の様子を見に行ったときのことで、今から演技を始めようというときに、2年生の一人が「(校長先生に) 見てもらう前に言っておきたいことがある。」と他の子供たちに向かって話し始めました。各自が手に持つ小道具にセリフを忘れたときに備えてセリフを書いた紙を貼ってあるらしいのですが、直前の練習で、その紙が演技を見る人からも見えてしまうと思ったので気を付けようという提案でした。

聞いていた子供たちも、「こうやって、(紙を) 折りたたんでおけばいいかな。」「でも、持ちにくくなる。」「(折りたたむために) 下を見ていると(紙が貼ってあることが) バレてしまう。」など、

提案されたことを改善しようと考えを出し合っていました。

結局、セリフの書いた紙を小さくして、試してみることになったようです。

自分たちの力でよりよいものに創り上げていくために練習のたびにみんなで振り返り、改善していくとする様子に、感心しました。

- 全校企画

11日に全校企画「モザイクアート」の制作がありました。これは、小中学生全員で学習発表会のテーマ「とどけよう みんなの心」を意識して活動し、気持ちを高めようという意図で実行委員会が企画したものです。

小さい色画用紙を1枚ずつ貼っていく根気のいる作業でしたが、中学生がさりげなく寄り添って励ましたり、手伝ったりしていました。おかげで、みんなが自分の分担した部分を時間内に仕上げることができました。

完成したモザイクアートを見て、「ぼくの担当したところ、ここ。」「私の貼ったところ遠くからでもすぐ分かる。」など喜々として話している姿は、自分がしっかりと一員として位置づいていることを確認し、安心しているようにも見えました。一人一人の力は小さくてもみんなの力を合わせるとこんなにも素敵なことができることを感じることもできた時間だったと思います。



- 「力がわきます！！」

最近の新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みて関係機関と相談し、山村留学生の保護者の方にも学習発表会を参観していただけることになりました。このことを子供たちに伝えたところ、留学生の一人が「先生ありがとうございます。力がわきます！！」と喜びの声。残り10日足らずの練習期間となりましたが、待ち望んだこの日のためにさらに熱が入るに違いありません。

(高田 公美)